

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農政企画局 課長（農業経営担当）	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	課長 世古 静夫 （皆木 治男）	内線	3929 （3944）
------	--------------------------	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	経営構造対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約5億円
		経営構造対策事業	春日地区	内用地補償費	- 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年度	完成予定 年度
氷上郡春日町七日市			H16	H16	H17

事業目的	事業内容
<p>県が進める「丹波の森構想」や春日町総合振興計画等を踏まえ、丹波ブランド（特産物）の生産拡大を図るとともに、直売、加工等への取組により付加価値の高い農業経営を目指し、生産者と消費者が共に集う多様な連携交流施設を総合的に整備することにより、担い手となる経営体の確保・育成を図る。</p> <p>事業主体：春日町</p>	<p>総合交流拠点施設（交流施設） 規模：1棟 239㎡ （国50%、県4%、町46%）</p> <p>産地形成促進施設（直売施設・調理販売施設） 規模：1棟 576㎡ （国50%、県8%、町42%）</p> <p>農畜産物処理加工施設（特産品加工施設） 規模：1棟 358㎡ （国50%、県8%、町42%）</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>春日地域では、水稻中心に複合的経営（野菜、畜産、花木等との）が行われ、丹波の特産物である大納言小豆、なす、スイートコーン等多数の高品質特産物を生産しているが、担い手となる農業者を育成するには、さらなる品質の向上、生産の拡大を進め、生産・流通・加工・販売・消費を一元的に推進することが緊急の課題となっている。</p> <p>このことから、平成18年度に予定されている「のじぎく兵庫国体」開催、「北近畿豊岡自動車道」春日・和田山間の開通を契機に、春日IC付近の通行人口を活用した農畜産物の直売、地域食材の供給、地域農業のPR・交流等のための総合交流機能施設整備を行う。これらの取り組みは、農畜産物の生産拡大・付加価値の向上、経営体の所得の増大及び雇用機会の拡大、都市住民との交流を進める手段として必要性は高い。</p>
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施により次の効果が期待できる。 農畜産物の直売・加工販売等有利販売・農家所得増：116百万円/年 都市農村の交流：入込客見込み約13万人/年 新たな雇用の創出：9人 費用便益比：B/C=1.20 「道の駅」(H16~17)及び遺跡公園(H15~19)と一体的に整備するため、集客効果が高く、北近畿豊岡自動車道の開通は物流、産業、地域活性化等への効果が期待される。 用地等地域の協力体制も整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 各施設は県産木材を利用した木造施設とし、資源の有効活用と循環を図るとともに景観への配慮を行う。また、有機・減農薬栽培を基本とした新鮮な農畜産物の販売、食材づくりを目指す。
(4)優先性	<p>本施設は「のじぎく兵庫国体」開催、「北近畿豊岡自動車」の開通に併せて「道の駅」及び遺跡公園と一体的に整備するため、相乗効果、集客面で効果が高く、安全・安心な野菜の供給と都市住民との交流に伴う担い手の育成等、優先性は高い。</p>